

県立流山おおたかの森高等学校

目 標

- 本校の特色である「国際理解教育」における生徒の様々な活動のために、本事業と連携しながら、更なる意識の向上を図る。そのために、学校の中だけでなく広く外部の人材や留学生との交流を通じてグローバルな視点を持てるようになることを目的とする。また、ユネスコスクールとしてのESD活動にもつなげていく。

留学生等との交流会の開催

- 日 時：平成30年9月20日（木）14時から
平成30年9月23日（日） 9時
- 会 場：本校及び生徒自宅
- 留学生等：レッドリンチ・ステイト・カレッジ（オーストラリア）の生徒20名
- 参加者：1年1組生徒40名、2年8組生徒40名、1年9組生徒40名
3年9組生徒40名及びホームステイHOST生徒17名、 計 177名
- 内 容：
 - 1時間目 書道の特別授業を体験し、「絆」の意味や楷書体及び行書体での書き方等を学習した。
 - 2時間目 英語の授業に参加し、日本人生徒と英会話の授業を行った。
 - 3時間目 家庭科の授業に参加し、日本人生徒と「鶏照りやき丼」「お吸い物」「みりんプリン」を作る調理実習を行った。
 - 4時間目 同上
 - 5時間目 体育の授業に参加し、日本人生徒と「ドッジボール」等を行った。
 - 6時間目 英語の授業に参加し、英作文の授業を行った。
 - 本校生徒宅で日本人生徒は3泊4日のホームステイHOSTを務めた。

(6) 事前学習：

事前受入説明会を実施し、ホームステイHOSTとしての心構えや、注意点等を確認した。

(7) 事後指導：

アンケートを実施

(8) 参加者の感想等：

- 英語力の向上の必要性を痛感した生徒が多かった。ホームステイHOSTを経験した生徒からは「オーストラリアと日本との共通点を発見できた。」「異文化理解のための良い経験になった。」「(本校で実施している)オーストラリア短期語学研修に来年度は是非参加したい。」等の感想が寄せられた。



海外理解促進のための講演会

(1) 日 時：平成30年11月15日（木）14時30分から16時

(2) 会 場：本校体育館

(3) 講 師：氏名 ドーラ・ルスナーク 氏

所属 オーストリア大使館（東京） 職名 一等書記官

(4) 参加者： 全校生徒1,089名、 計 1,089名

(5) 内 容：

「EU があなたの学校にやってくる！」の演題で講演をしていただいた。講師の出身国であるハンガリーの紹介に始まり、EU の持つ役割や意義等をパワーポイントを使いながら本校生徒に分かりやすく説明していただいた。講演は英語で行っていただいた。

(6) 事前学習：

世界地図や英文のパンフレット、地理の授業等で基礎知識を高めた。

(7) 事後指導：アンケートを実施

(8) 参加者の感想等：

「遠い存在であったヨーロッパ諸国と日本とのつながりを知ることができた。」「EU の大切さや、国境のない世界観が新鮮だった。」「英語同時通訳と共に講演を聴けたので、この英語表現が日本語にするとこうなるのか等の発見があった。」などの感想が寄せられた。講演終了後の質疑応答では「アメリカ・トランプ大統領との関係」「使用通貨ユーロのデザイン」等の質問が相次いだ。



事業の成果

- ・ 日本の文化・伝統・風習等をあらためて知る機会になった。
- ・ 異文化出身者との交流の中で、日本との相違点に気づき、相手の文化を尊重する事の大切さを学べた。
- ・ 「おもてなしの心」の持つ意味を実体験を通じて知ることができた。

今後考えられる新たな取組

- ・ 台湾や中国高校生徒の交流会の実施
- ・ グアム友好交流校との英語での討論会の実施
- ・ オーストラリア高校生の長期受入